

(参考1)

<BRT ひこぼしライン FC バス実証運転について>

1 実証運転の意義・狙い

- ・ 将来のエネルギーである水素を地域全体の持続的な成長につなげるとともに、住民の身近な地域交通利用を通じて、水素への理解を深める。
- ・ FC モビリティ導入の可能性を検証し、グリーン交通実現に向けた地域公共交通の選択肢拡大につなげる。
- ・ 地域交通への水素利用拡大を図るとともに、日田彦山線沿線地域の振興にもつなげる。

【各者の役割】

- | | | |
|-------|---|---------------------------|
| 福岡県 | … | 全体調整や実証運転の環境整備に向けたサポート |
| CJPT | … | 次世代水素バスの開発企画、実証車両のコーディネート |
| JR 九州 | … | BRT ひこぼしラインでの実証車両の運転 |

2 実証運転車両について

【車両デザイン】

環境にやさしい水素エネルギーのイメージや、BRT ひこぼしライン沿線に広がる青空を表現しました。「おりひめの羽衣」をイメージした模様により、BRT ひこぼしラインオリジナル車両として他の車両との統一感を持たせたデザインとしています。



【車両概要】

FC 小型バス……………1 台

(トヨタ自動車株式会社製 FC コースター 定員 21 名※、座席 14 席)

※ 定員数は運転手を含みます。

全長×全幅×全高：6990 mm×2120 mm×2620 mm

FCEV「MIRAI」第2世代 FC システム活用、走行中 CO₂ 排出ゼロの高い環境性能 (*)

* FC モビリティは、水素と酸素を化学反応させて発電した電気を使い CO₂ を排出せずに走行、環境にやさしい車両です。

3 実証運転期間

2023 年 11 月 28 日から 2025 年春頃までを予定しております。

※ 運転開始日や運転時刻は、JR 九州からのお知らせをご確認ください。

<JR 九州ニュースリリース>

https://www.jrkyushu.co.jp/news/_icsFiles/afieldfile/2023/11/15/231115_BRT_hikoboshi_line_FC-bus_operation_start_date.pdf

